

## ついにマハタの稚魚生産にも成功!

平成11年にはついにマハタでも成功した。



マハタの稚魚 90mm



マハタの変態中の仔魚10mm

## マダイ、トラフグ、ヒラメの稚仔魚

マダイ・ふ化10日目



トラフグ・ふ化35日目



ヒラメ・ふ化25日目



など魚類の種苗生産技術は急速に発展した。  
三重県水産技術センターでもマダイ、トラフグ、ヒラメなどの技術開発をすすめてきたが、平成八年、尾鷲市古江に最先端設備をもつ三重県尾鷲栽培漁業センターが開所したのを契機に、水産技術センターでは同所と共同でカサゴ、クエ、マハタの生産に次々と成功した。

これらの魚類種苗は今後の熊野灘の養殖・栽培漁業に一筋の明るい可能性を与えるものである。



⑥ 変態中の仔魚 10mm

⑤ ふ化仔魚 3.0mm

⑦ 稚魚65mm

④ 受精卵



## クエにつづき マハタの種苗生産 にも成功する

昭和三十七年ごろ、日本の水産政策は「とる漁業からつくる漁業」へと大きく転換して、養殖漁業が本格化する。昭和四十二(一九六七年)年、瀬戸内海でマダイの種苗生産に成功したのがきっかけとなって、ヒラメ、トラフグ、クロダイ



仔魚のエサにするワムシ：小型のワムシを育てる技術が種苗生産に大きく役立った



①クエの親魚・大きなのは体長1.5mにもなる



②クエからの採卵



③クエのオスから精子をとる